

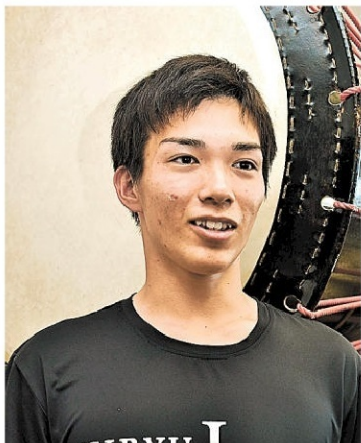
中学生から、地元の和太鼓チーム「天城連峰太鼓」に所属し、腕を磨いてきた。高校でも和太鼓を続けたいとの思いで飛龍高に進み、2017年秋から部長を務める。8月26日には、東京都の国立劇場でも演奏した。18歳。

—優秀賞受賞の感想は。
「本番は緊張したが、集中して良い演奏ができた。練習の成果を出し切り、優秀賞を取れたのはとてもうれしい。今までお世話になった親、先生などへの感謝の気持ちを届けられたと思う」

—普段の部活動の取り組み

全国高校総合文化祭で優秀賞を獲得した
飛龍高和太鼓部部长

すずき はやた さん (伊豆市)
鈴木 颯太



この人

みは。
「練習メニューや曲の構成は自分たちで考えていて、天城連峰太鼓のメンバーから指導を受けることもある。休日は各地で公演に回り、多い日は1日に4回出演する。さまざまなお客さんを前に演奏できるのはありがたい」

—国立劇場のステージを振り返って。

「一生に一度の舞台と思いい、緊張した。とても広い会場で音も良く響き、演奏後のたくさんの拍手が印象に残っている」

—和太鼓の魅力は。

「喜びを仲間と共有できるところ。メンバーの気持ちを一つにして、曲全体がぴったり合った瞬間は気持ちがいい。10月の学園祭を最後に部を引退するが、卒業後も見る人を楽しませる太鼓を打ち続けたい」

◇ 受験勉強に奮闘中。得意科目は日本史。